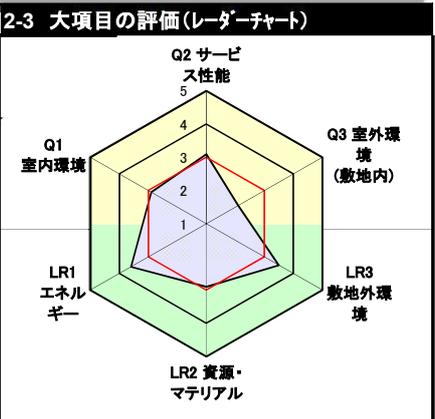
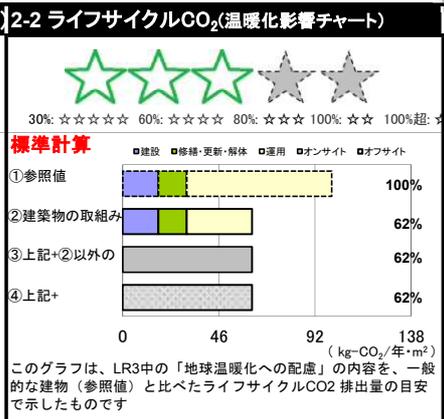
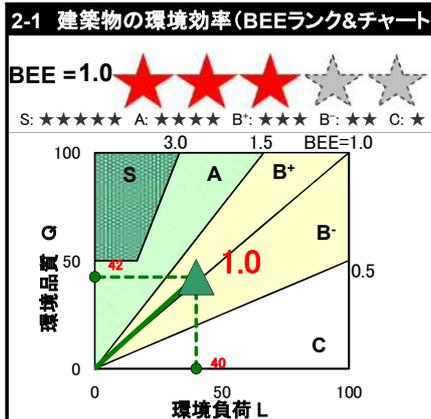


CASBEE®-建築(新築)

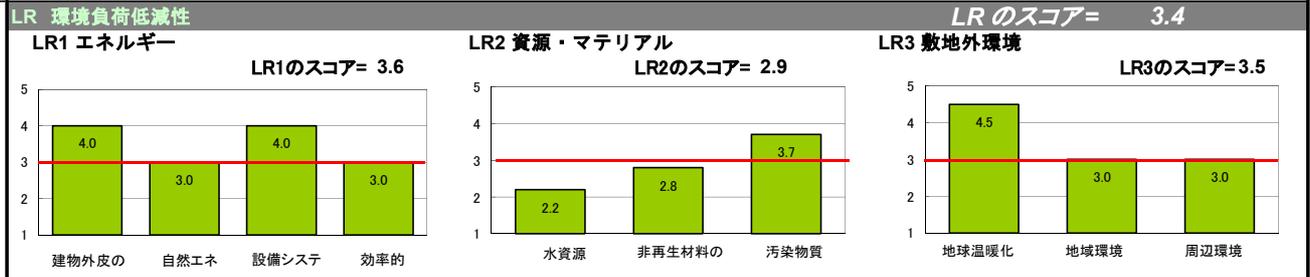
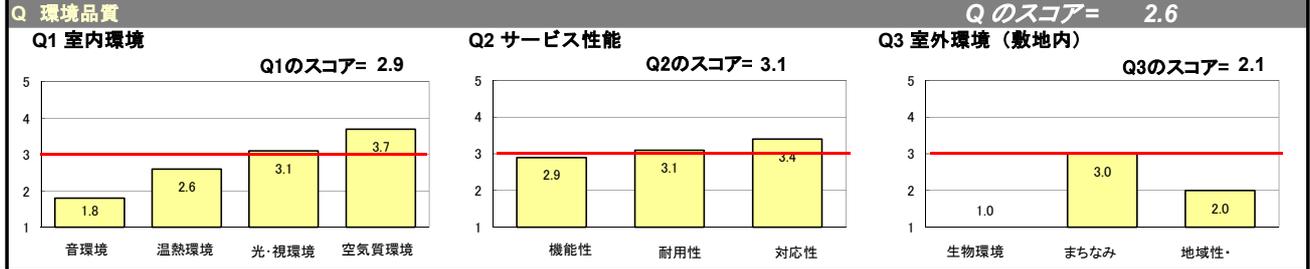
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	門司消防署建替工事	階数	地上3F
建設地	福岡県北九州市門司区大里東一丁	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、指定なし	平均居住人員	30人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年2月13日
敷地面積	1,535 m ²	作成者	(有)森川哲朗建築設計事務所
建築面積	1,032 m ²	確認日	
延床面積	2,445 m ²	確認者	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・周囲との景観の調和に配慮した。	0	
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を使用。 ・事務室はできる限り開口部を確保し室内環境に配慮。	Q2 サービス性能 ・休憩室を設置し快適性向上を図った。 ・設備システムはメンテナンスを考慮した計画とした。 ・階高にゆとりをもたせ、建物の自由度を高めた。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物形状等について周辺環境に配慮。
LR1 エネルギー ・事務所部分では壁、屋根に断熱材を設け省エネ性を高めた。	LR2 資源・マテリアル ・躯体と仕上材が容易に分別可能とし、部材の再利用可能に努めた。また再利用できるエント部材を使用。	LR3 敷地外環境 ・適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される